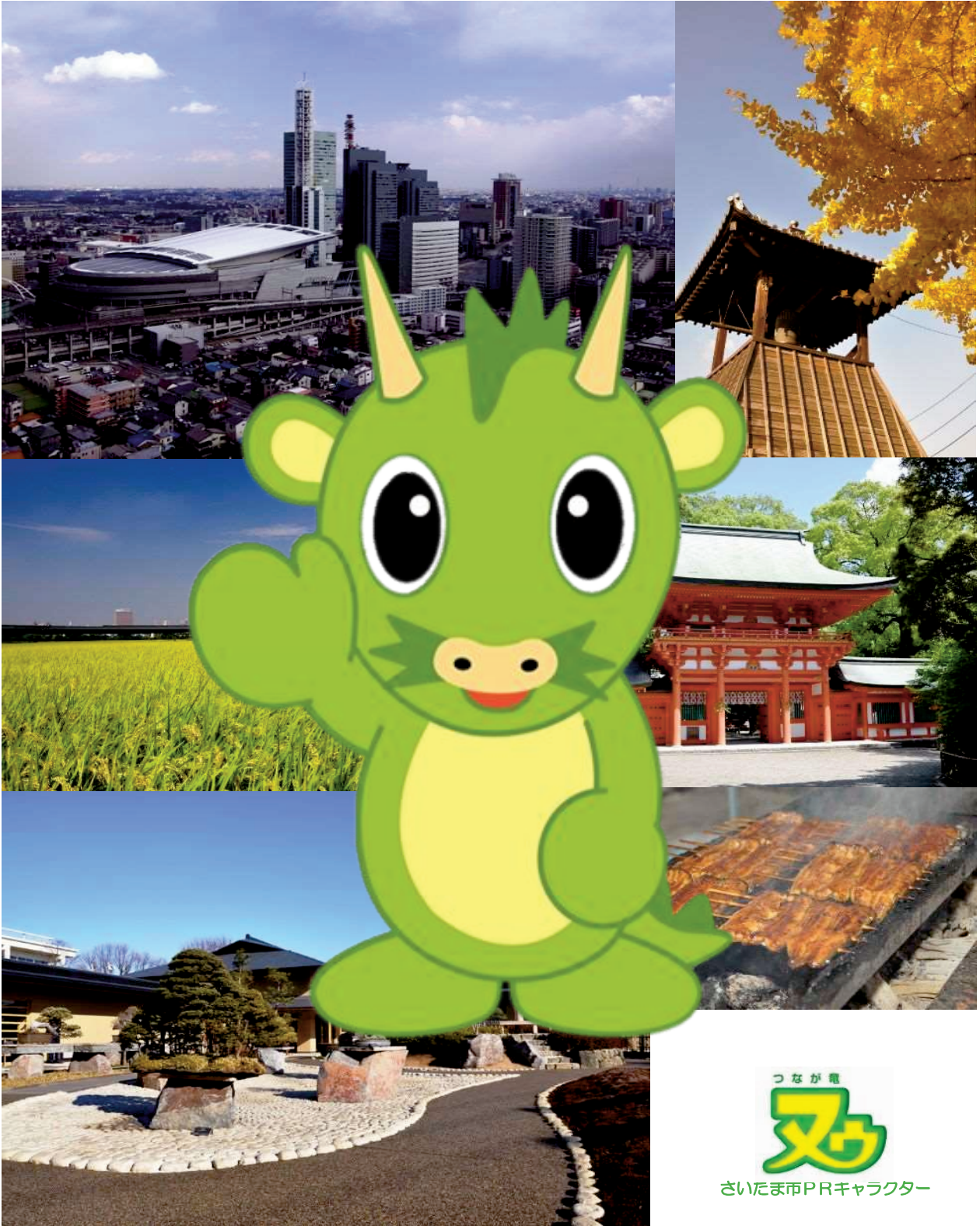


令和元年6月
さいたま市の財政



つなが龍
又
さいたま市PRキャラクター

はじめに

市が提供するさまざまな行政サービスは、市民の皆様に納めていただいた税金や国・県からの支出金などによって賄われています。市では、それらがどのように使われているか、また、執行の状況はどうなっているかをお知らせするため、「さいたま市の財政」を毎年2回（6月、12月）公表しています。

今回は、令和元年度の当初予算の概要と平成30年度下半期の財政状況をお知らせします。

なお、本冊子は、平成31年3月31日現在の状況を基に調製しています。この状況に出納整理期間※の変動を加えることで、決算として確定します。決算の概要については、12月号で公表を予定しています。

※「出納整理期間」とは

3月末日までに確定した債権・債務を整理するための期間として、5月末日までの2か月間設けられているもの。

もくじ

| | | |
|---|-------------------|---|
| 1 | 令和元年度当初予算の概要 | 1 |
| 2 | 平成30年度歳入歳出予算の執行状況 | |
| | ・一般会計 | 3 |
| | ・特別会計 | 5 |
| 3 | 平成30年度予算の使い方と市税負担 | 7 |
| 4 | 財産、地方債及び一時借入金の現在高 | 8 |
| 5 | 公営事業の状況 | 9 |

1 令和元年度当初予算の概要

予算の特徴

- 「市民一人ひとりがしあわせを実感できる都市」、「誰もが住んでいることを誇りに思えるさいたま市」を実現するため、「しあわせ倍増プラン2017」、「さいたま市成長加速化戦略」及び「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を着実に実施する事業について予算を重点配分
- 東日本の中枢都市としての地位を確立するため、東日本連携の取組を加速化させ、東日本の対流拠点にふさわしい都市機能の充実を図る予算
- 東京2020大会を契機にスポーツに対する関心や参加意欲が高まる中、健康で活力ある「スポーツのまち さいたま」の実現に向けて健康増進につながるスポーツ環境の充実を図る予算
- 少子高齢化社会の急速な進行、地域コミュニティ力の低下に対応するため、子育てを応援し、だれもが健やかに安心して暮らせる環境や、きめ細かで質の高い教育環境の充実を図る予算

予算の総額

一般会計

福祉、教育、医療や道路・公園の整備など市の基本的なサービスを行う会計で、主に市税で賄われています。一般会計は1つしかありません。

福祉

土木

教育

など

当初予算額 (前年度)
5,568億円 (5,545億円)
 対前年比 0.4%増

特別会計

国民健康保険や介護保険のように、特定の収入をもって特定の支出に充てるため、一般会計と区別する必要がある事業の会計。さいたま市には14の会計があります。

国民健康保険

介護保険

都市開発

など

当初予算額 (前年度)
3,118億円 (3,087億円)
 対前年比 1.0%増

企業会計

民間企業と同じように、基本的には事業収益で賄われている会計。さいたま市には、水道事業、下水道事業、病院事業の3つの会計があります。

水道事業

下水道事業

病院事業

当初予算額 (前年度)
1,380億円 (1,306億円)
 対前年比 5.7%増

全会計合計

当初予算額 (前年度)
1兆66億円 (9,938億円)
 対前年比 1.3%増

主な事業

01

環境
アメニティ

環境未来都市の実現【予算 1億8,827万円】

東京2020大会での会場間アクセスを向上させる次世代バスの導入にあわせ、脱炭素型地域交通モデルの構築などを目指します。

02

健康
福祉

私立幼稚園等の預かり保育促進【予算 9億40万円】

私立幼稚園等の預かり保育事業の費用を助成するとともに、「子育て支援型幼稚園」の利用者負担の軽減などを行います。

03

教育・文化
スポーツ

“スポーツのまちさいたま”の実現【予算 1億2,018万円】

気軽にスポーツができる多目的広場やバスケットボールコートを新たに整備します。また、民間の力を最大限に活用した「スポーツシューレ事業」として、女子サッカー等活性化事業を行います。

04

都市基盤
交通

暮らしの道路・スマイルロードの整備【予算 37億6,616万円】

生活道路の排水能力の向上や舗装の再整備などを進めます。

05

産業
経済

にぎわい交流館いわつきの整備【予算 2億8,560万円】

地域活性化拠点として「にぎわい交流館いわつき」を整備し、岩槻の歴史や文化を発信します。

06

安全
生活基盤

既存ブロック塀の改善【予算 3,000万円】

地震で倒壊のおそれがあるブロック塀等を改善するために、除却工事等に係る費用を助成します。

07

交流
コミュニティ

自治会への支援・加入促進【予算 2億8,868万円】

自治会活動を支援するとともに、「自治会区域図」を整備し、新たにホームページに掲載します。

08

高品質経営
プログラム

ICTを活用した働き方改革の推進【予算 1,828万円】

事務処理を自動化するソフトウェアロボットの試行導入や保育施設の入所選考にAIを導入するなど、業務の効率化を図ります。

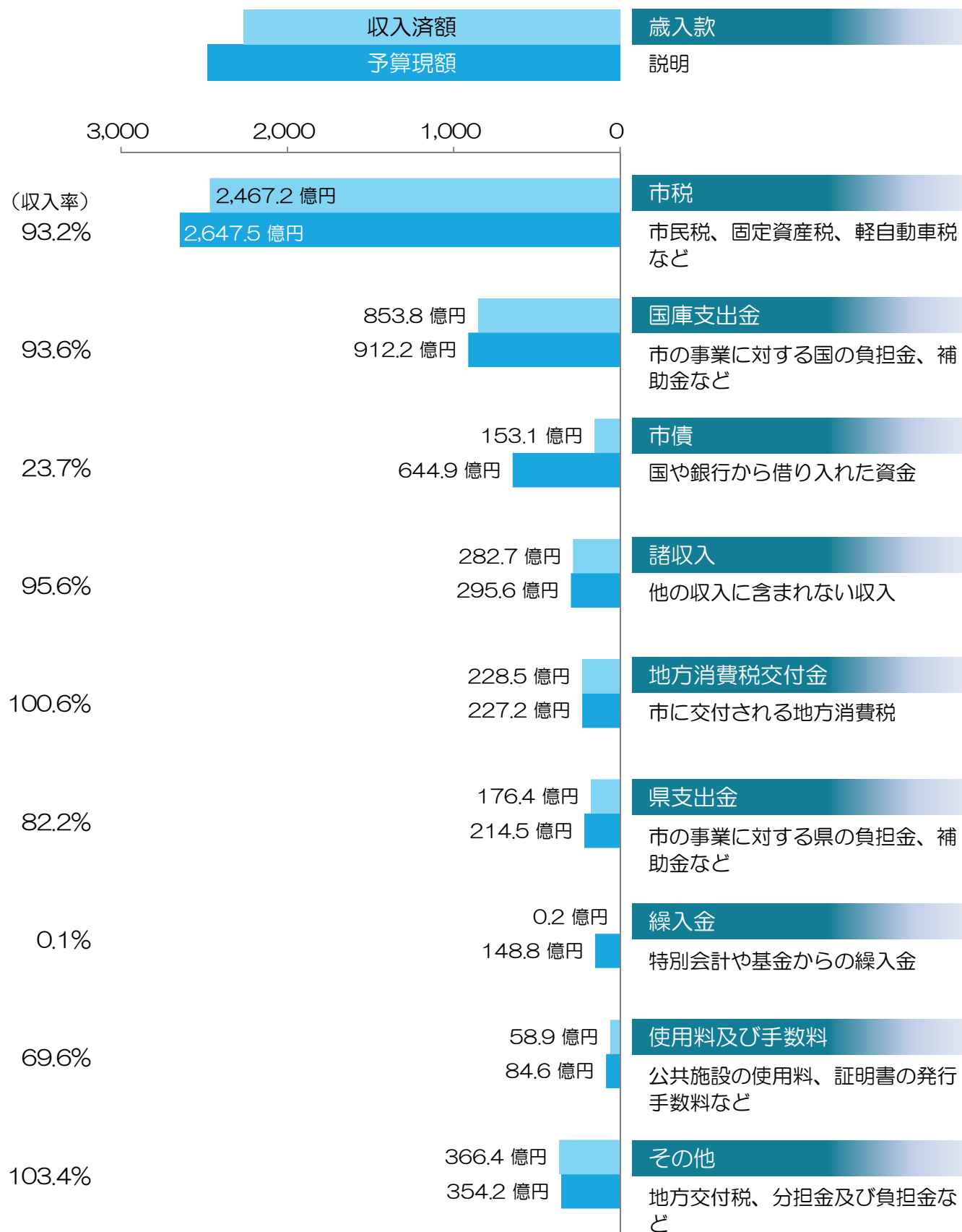
このほかにもさまざまな事業に取り組んでいきます。



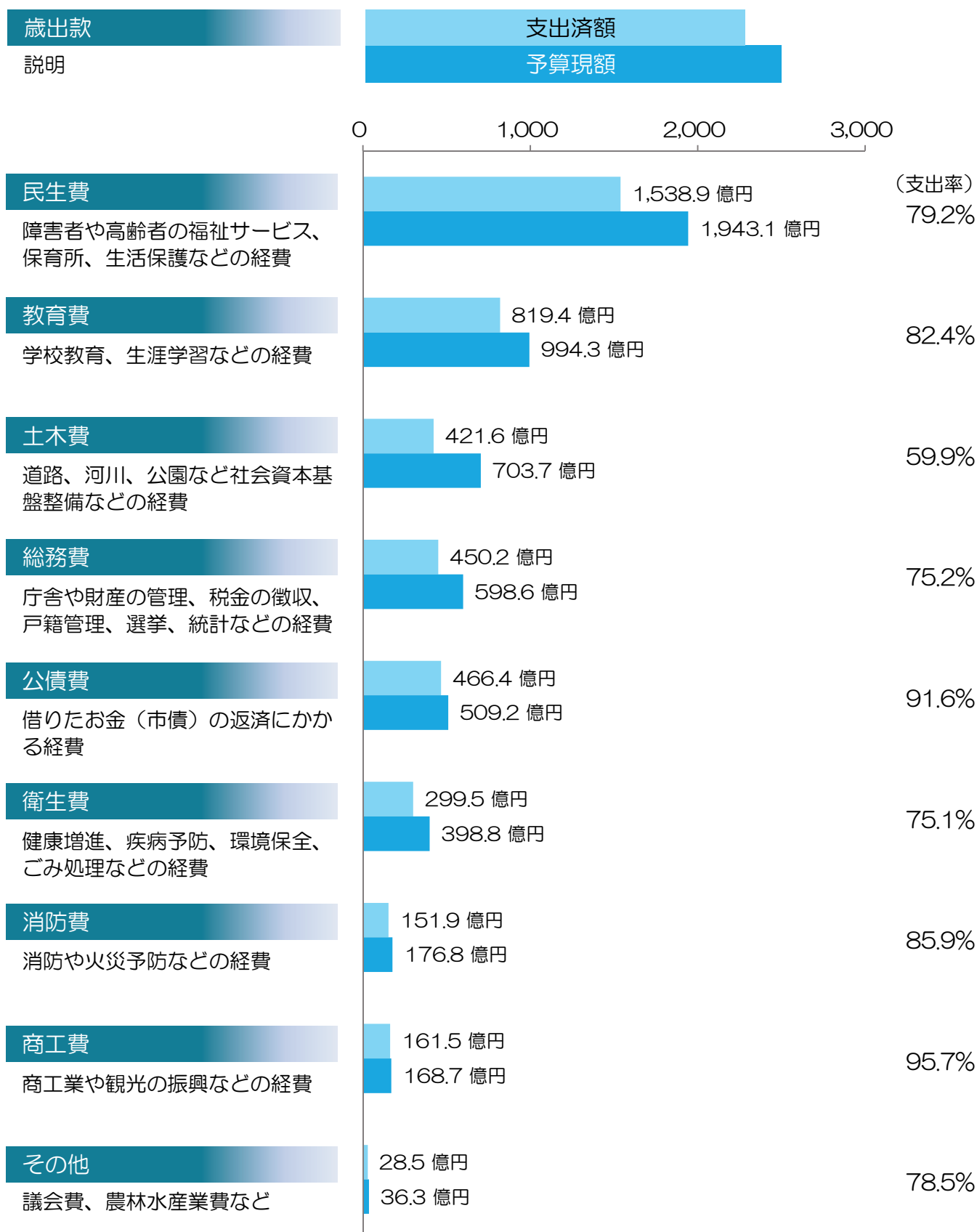
2 平成30年度歳入歳出予算の執行状況

一般会計

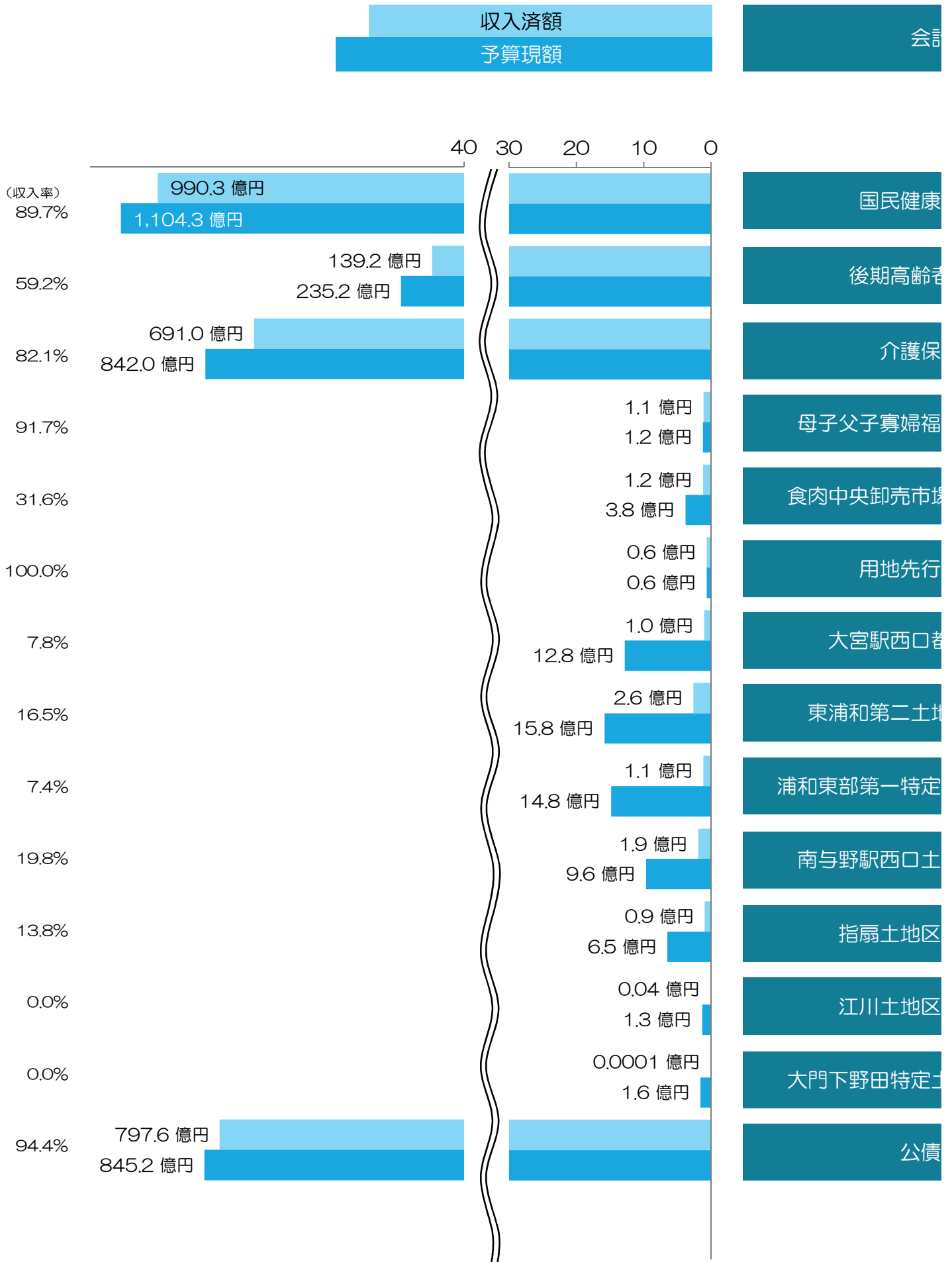
$$\text{歳入} = \frac{\text{収入済額 } 4587\text{億}2992\text{万円}}{\text{予算現額 } 5529\text{億}4090\text{万円}} = \text{収入率 } 83.0\%$$

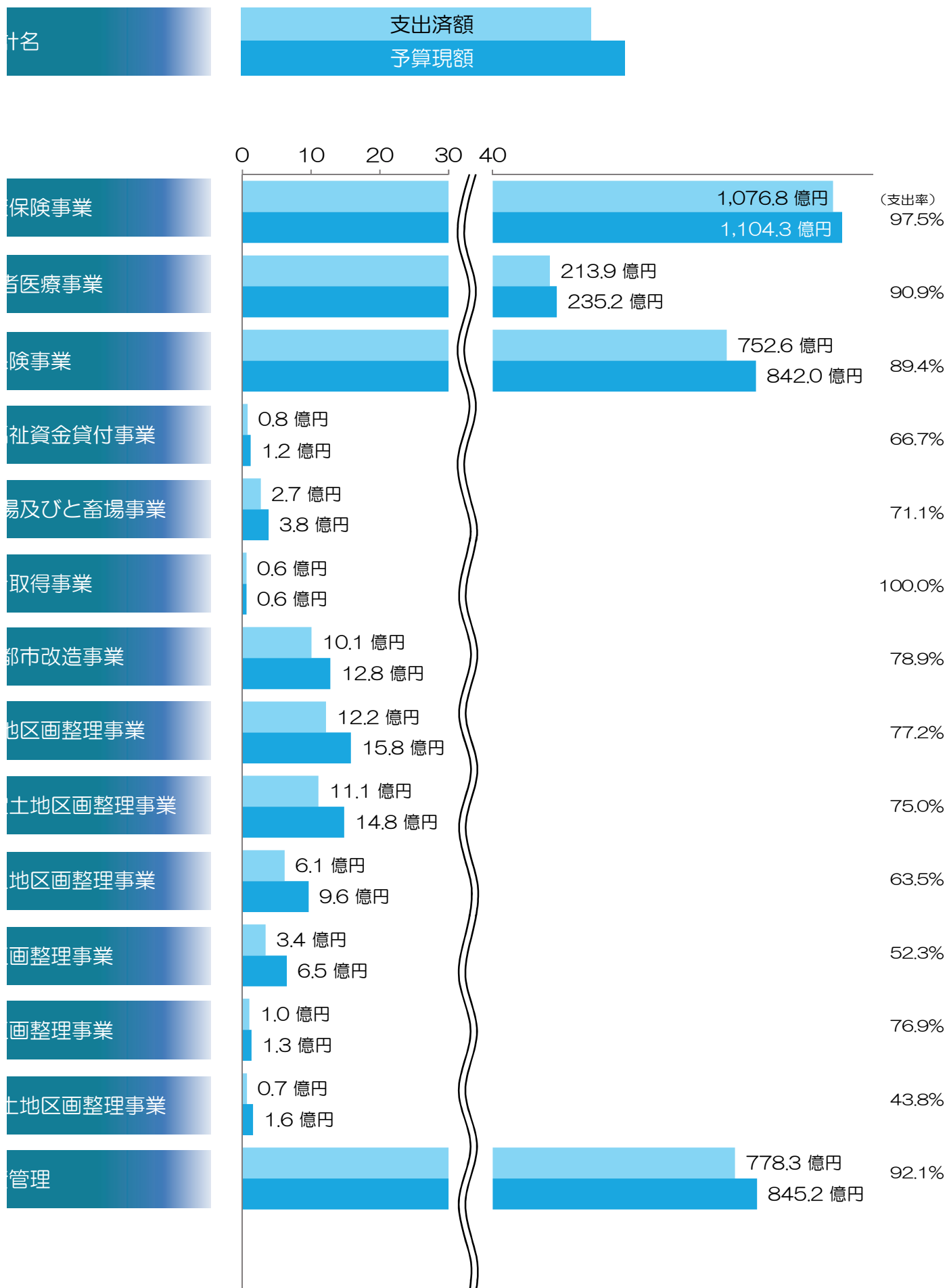


歳出 $\frac{\text{支出済額 } 4337\text{億}7739\text{万円}}{\text{予算現額 } 5529\text{億}4090\text{万円}} = \text{支出率 } 78.4\%$



特別会計





3 平成30年度予算の使い方と市税負担

※区分ごとに四捨五入しているため、各数値の合計と総額は一致しない場合があります。

市民一人当たりの予算の使われ方

1

民生費



148,773円

歳出（一般会計）を、
市民一人当たりに換算すると、

423,359 円

※市民一人当たりの歳出の額を、目的別で金額の多い順に並べています。
※平成31年4月1日現在の人口（1,306,079人）を基に算出（以下同様）。

2

教育費



76,129円

3

土木費



53,879円

4

総務費



45,832円

5

公債費



38,989円

6

衛生費



30,532円

7

消防費



13,533円

8

商工費



12,913円

その他

農林水産業費
議会費
労働費
予備費
災害復旧費

2,779円

市税負担の状況

市税を、市民一人当たりに換算すると、

202,705 円

市民税



113,486円

固定資産税



65,180円

都市計画税

13,979円

市たばこ税

5,536円

事業所税

3,543円

軽自動車税




978円

その他

3円

4 財産、地方債及び一時借入金の現在高

財産の現在高

| 土地 | 建物 | 基金 |
|---|---|---|
|  |  |  |
| 31,308,158.87㎡ | 2,648,308.04㎡ | 73,625,754千円 |

その他の財産

| 区分 | 平成30年度末現在高 | |
|------|-----------------|-----------------|
| 公有財産 | 立木 | 7,274.00 ㎡ |
| | 物権 | 268,225.35 ㎡ |
| | 動産 | なし |
| | 無体財産権 | 13 件 |
| | 有価証券 | 9,684,100,000 円 |
| | 出資による権利 | 1,722,907,715 円 |
| | 不動産の信託受益権 | なし |
| 物品 | 4,206 点 | |
| 債権 | 3,277,680,186 円 | |

※物品については、取得価格が1点100万円以上の備品の年度末現在高のみ掲載対象としています。

※基金の現在高（内訳）

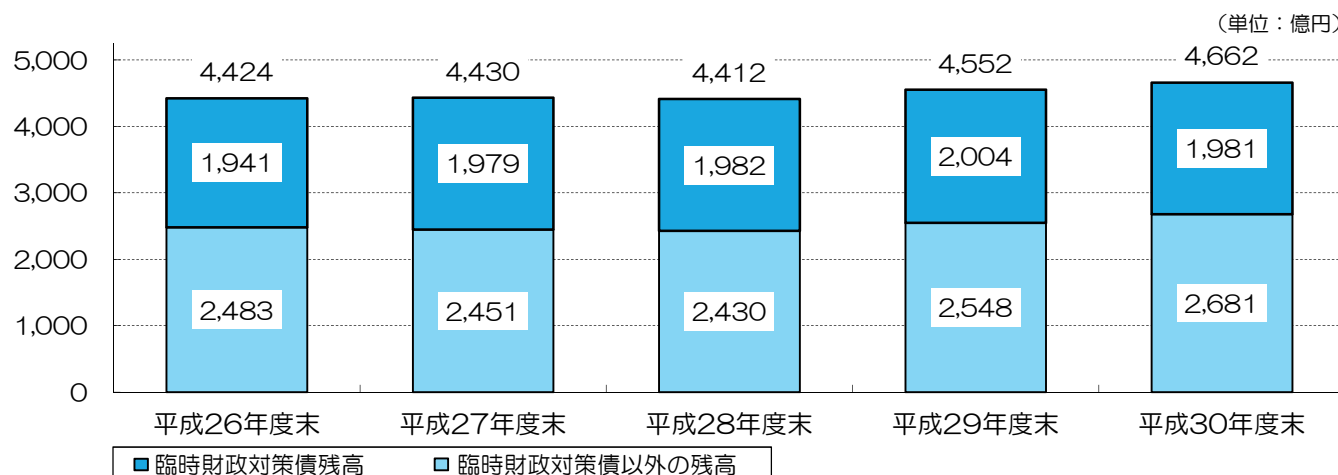
- ・財政調整基金：年度間の財源不均衡を調整するために設置される基金で、決算剰余金を積立、必要に応じて取崩を実施。 22,768,635 千円
- ・減債基金：地方債の償還を計画的に行うために設置される基金で、計画に応じて積立・取崩を実施。 19,851,663 千円
- ・その他特定の目的のために設置される基金：公共施設の老朽化対策など、事業の目的に応じて積立・取崩を実施。 31,005,456 千円

地方債の現在高

（単位：千円）

| 会計 | 平成26年度末 | 平成27年度末 | 平成28年度末 | 平成29年度末 | 平成30年度末 | |
|------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 一般会計 | 442,422,790 | 442,998,212 | 441,203,864 | 455,252,025 | 466,182,531 | |
| 特別会計 | 17,942,306 | 16,036,747 | 13,925,460 | 13,009,891 | 11,965,976 | |
| 企業会計 | 水道事業 | 60,252,636 | 56,995,667 | 53,618,857 | 51,440,243 | 47,993,741 |
| | 病院事業 | 1,528,579 | 1,602,992 | 2,895,001 | 4,675,399 | 8,348,849 |
| | 下水道事業 | 176,303,348 | 179,648,085 | 180,026,749 | 180,769,198 | 181,233,945 |
| 合計 | 698,449,659 | 697,281,703 | 691,669,931 | 705,146,756 | 715,725,042 | |

（参考）地方債の現在高の推移（一般会計）



一時借入金の現在高

平成30年度上半期に引き続き、平成30年度下半期における借入れはなく、平成30年度末の残高はありません（一時借入金は金融機関からの借入れを指し、基金や会計間の繰替運用によるものは含みません。）。

5 公営事業の状況

水道事業

水道事業では、昭和12年（1937年）の給水開始以来、6期の拡張事業を重ね、ほぼ100%の普及率となっていますが、普及率が著しく向上した高度経済成長期に建設した多くの施設の老朽化が進み、大規模更新や耐震化対策等の強化が不可欠となっています。また、多様化する市民ニーズに対応したサービスの向上も必要となっており、これらに係る財源の確保が課題となっています。

水道局では、このような時代や環境の変化に対応するため、平成26年12月に改訂した、さいたま市水道事業長期構想に基づき効率的、効果的な事業運営に努めていきます。

令和元年度当初予算の概要

当初予算額 46,934,107千円

(主な事業) (単位：千円)

| | |
|---------------------------|------------|
| 水道施設整備事業 | 10,703,772 |
| 水の安定的な供給を図るための施設整備を推進します。 | |

病院事業

本市が運営する唯一の公立病院であるさいたま市立病院は、地域における基幹的な公的医療機関として、地域医療の確保のため重要な役割を果たしていますが、全国的に公立病院を取り巻く経営環境や医療提供体制の維持が極めて厳しい状況となっていることから、中期経営計画に基づいた、医療機能の充実と健全経営の確立を図る必要があります。

また、施設及び設備が老朽化しており、安定した医療提供体制の維持と、医療機能を強化するために、施設整備を行い、地域がん診療連携拠点病院として質の高い医療の提供や、高度医療機器の整備、緩和医療を含めた診療体制の充実などを図っていく必要があります。

令和元年度当初予算の概要

当初予算額 39,867,366千円

(主な事業) (単位：千円)

| | |
|---|-----------|
| 市立病院施設整備事業 | 9,549,035 |
| 市民に安心して、安定した医療の提供と、医療機能の強化を図るため、救命救急センター設置を含めた施設整備を実施します。 | |
| 市立病院医療機器整備事業 | 6,451,293 |
| 新病院開院に伴う医療提供体制の整備及び病院機能拡充のため、新たに定位放射線治療装置等の医療機器を整備します。 | |

下水道事業

公衆衛生の向上、生活環境の改善を実現し、水循環を形成するとともに、大雨等による自然災害に対して、誰もが安心・安全に暮らせるまちづくりに資するため、主要事業である下水道汚水事業、下水道浸水対策事業、下水道施設老朽化対策事業を推進していきます。

また、平成29年3月に策定した「さいたま市下水道事業中期経営計画（平成29年度から平成32年度まで）」に基づき、現行使用料体系を維持し、下水道サービスを持続的に提供していくために経営基盤の強化に努めていきます。

令和元年度当初予算の概要

当初予算額 51,164,816千円

(主な事業) (単位：千円)

| | |
|---|-----------|
| 下水道汚水事業 | 3,758,695 |
| さいたま市生活排水処理基本計画で定めた合併処理浄化槽との役割分担により、事業効率が高い区域の汚水整備を推進します。 | |
| 下水道浸水対策事業 | 3,190,171 |
| 浸水被害の軽減を目的とした雨水貯留施設及び雨水管の整備を推進します。 | |
| 下水道施設老朽化対策事業 | 4,628,314 |
| 老朽化した下水道施設について、計画的な改築を進めるとともに、重要な下水道施設の耐震化を実施します。 | |

平成30年度計理の概況 (単位：千円)

| 科目 | 金額 |
|----------|-------------|
| 資産 | 221,044,260 |
| (1) 固定資産 | 201,402,430 |
| (2) 流動資産 | 19,641,830 |
| 負債 | 87,927,634 |
| (1) 固定負債 | 46,327,869 |
| (2) 流動負債 | 11,284,093 |
| (3) 繰延収益 | 30,315,672 |
| 資本 | 127,813,648 |
| (1) 資本金 | 118,633,022 |
| (2) 剰余金 | 9,180,626 |
| 収益 | 30,870,649 |
| うち営業収益 | 29,498,926 |
| 費用 | 25,567,671 |
| うち営業費用 | 24,469,816 |

(単位：千円)

| | 収入 | | 支出 | |
|-------|------------|--------|------------|-------|
| | 執行額 | 執行率 | 執行額 | 執行率 |
| 収益的収支 | 33,203,315 | 101.8% | 27,107,097 | 95.9% |
| 資本的収支 | 1,997,615 | 53.2% | 16,828,353 | 80.3% |

事業の概況 (平成30年度下半期)

| 項目 | 前年同期 | 当期 | 対前年度 |
|---------------------------|------------|------------|--------|
| 給水件数 | 597,988 | 608,356 | 101.7% |
| 給水量 (m ³) | 66,056,350 | 66,003,740 | 99.9% |
| 一日平均給水量 (m ³) | 362,947 | 362,658 | 99.9% |

平成30年度計理の概況 (単位：千円)

| 科目 | 金額 |
|----------|------------|
| 資産 | 27,655,490 |
| (1) 固定資産 | 16,089,787 |
| (2) 流動資産 | 11,565,703 |
| 負債 | 18,159,707 |
| (1) 固定負債 | 10,797,235 |
| (2) 流動負債 | 6,199,647 |
| (3) 繰延収益 | 1,162,825 |
| 資本 | 9,303,495 |
| (1) 資本金 | 8,609,240 |
| (2) 剰余金 | 694,255 |
| 収益 | 17,294,009 |
| うち医業収益 | 15,730,434 |
| 費用 | 17,101,721 |
| うち医業費用 | 16,355,134 |

(単位：千円)

| | 収入 | | 支出 | |
|-------|------------|-------|------------|-------|
| | 執行額 | 執行率 | 執行額 | 執行率 |
| 収益的収支 | 17,313,511 | 97.7% | 17,110,424 | 95.5% |
| 資本的収支 | 3,993,074 | 23.9% | 5,049,013 | 26.3% |

事業の概況 (平成30年度下半期)

| 項目 | 前年同期 | 当期 | 対前年度 | |
|-----------|---------|---------|--------|--------|
| 病床数 | 567 | 567 | 100.0% | |
| 入院患者数 | 一般病床 | 83,772 | 85,302 | 101.8% |
| | 結核病床 | 835 | 1,150 | 137.7% |
| 一日平均入院患者数 | 一般病床 | 460.3 | 468.7 | 101.8% |
| | 結核病床 | 4.6 | 6.3 | 137.4% |
| 外来患者数 | 114,121 | 115,296 | 101.0% | |
| 一日平均外来患者数 | 951.0 | 960.8 | 101.0% | |

平成30年度計理の概況 (単位：千円)

| 科目 | 金額 |
|----------|-------------|
| 資産 | 419,476,049 |
| (1) 固定資産 | 409,554,977 |
| (2) 流動資産 | 9,921,072 |
| 負債 | 285,583,798 |
| (1) 固定負債 | 169,693,249 |
| (2) 流動負債 | 15,756,558 |
| (3) 繰延収益 | 100,133,991 |
| 資本 | 132,684,889 |
| (1) 資本金 | 130,905,964 |
| (2) 剰余金 | 1,778,925 |
| 収益 | 24,470,969 |
| うち営業収益 | 21,397,652 |
| 費用 | 23,263,607 |
| うち営業費用 | 20,231,302 |

(単位：千円)

| | 収入 | | 支出 | |
|-------|------------|-------|------------|-------|
| | 執行額 | 執行率 | 執行額 | 執行率 |
| 収益的収支 | 25,832,268 | 99.9% | 23,841,525 | 97.7% |
| 資本的収支 | 14,750,023 | 69.3% | 25,559,458 | 74.7% |

事業の概況 (平成30年度下半期)

| 項目 | 前年同期 | 当期 | 対前年度 |
|------------------------------|------------|------------|--------|
| 污水处理戸数 | 505,879 | 517,680 | 102.3% |
| 污水处理水量 (m ³) | 71,465,996 | 66,594,380 | 93.2% |
| 一日平均污水处理水量 (m ³) | 392,670 | 365,903 | 93.2% |



この冊子は150部作成し、1部当たりの印刷経費は63円（概算）です。

令和元年6月
編集発行 / さいたま市財政局財政部財政課
TEL 048-829-1154